

准看護学科の閉課および教育機能の継承について

錦秀会看護専門学校 看護高等課程 准看護学科は、令和 8 年 3 月 31 日をもって、47 年にわたる歴史に幕を閉じることとなりました。

本学科は昭和 54 年、堺市深井の地に「医療法人阪和病院附属准看護学院」として開院いたしました。平成 29 年 4 月には河内長野市へ移転し、「学校法人阪和学園 錦秀会看護専門学校 看護高等課程 准看護学科」へと継承。開院以来、累計約 2,800 名の卒業生を社会へと送り出してまいりました。

卒業生の皆様が、今この時も各地の医療現場で多大なる貢献をされていることは、本校にとって最大の誇りです。これまで教育にご尽力いただいた歴任教職員の皆様、実習にご協力いただいた医療機関の皆様、そして温かいご支援を賜りました地域の皆様に、心より深く御礼申し上げます。

近年、医療を取り巻く環境は劇的に変化し、看護師養成所においてはより高度な専門知識と実践力を備えた人材が求められる時代となりました。こうした社会情勢を鑑み、本学科は令和 7 年度の新入生募集を停止し、その教育機能を看護専門課程 看護学科（3 年課程）へと継承することといたしました。

卒業生の皆様におかれましては、本校での学びを糧にさらに飛躍されることを心よりお祈り申し上げます。

【卒業生の皆様へ：証明書の発行について】

准看護学科の閉課後におきましても、卒業証明書や成績証明書などの各種証明書発行業務は、継続してまいります。

令和 8 年 3 月 6 日
学校法人阪和学園
錦秀会看護専門学校
理事長 藪本 武志
学校長 福井 裕行